

慈愛にみちた瞳  
豊かな口許と頬  
ひたいの皺  
特徴ある頭

元祖大師の温容なお姿をそのままに

重要  
文化財

# 法然上人足曳御影

二尊院 蔵  
解説 金沢弘



# 影御曳足上人然法

重要文化財  
二尊院 蔵

解説

金沢 弘



法然上人の温容を、簡潔な描線と微かな彩色と墨のぼかしで、写實的に描いた傑作である。制作年・作者については不詳だが、鎌倉初期の最高の画家隆信自身あるいはその流れを汲む手になる肖像画の名作である。おおらかに座し、慈愛にみちた瞳、豊かな口許と頬、

ひたいの皺、そして何よりもその特徴的な頭の形などに、上人の真の姿が感得され、また偉風を兼ねた崇高さが伝わってくる。この名称の由来は、足を伸して休息中の上人を描いた画に上人が加持したところ、足がひかれたという説話による。

完全複製 掛軸

## ●仕様

軸寸法／天地一八九・二cm×左右九六・一cm

画寸法／天地一〇四・〇cm×左右七八・五cm

カラーグラビア九色刷

特瀧鳥の子紙柙目桐篭入

袋和綴解説書付

発行所／同朋舎出版

〒600 京都市下京区中堂寺鍵田町2

TEL.075-343-0621